

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（グローバル展開プログラム）
研究テーマ公募型研究テーマ 研究概要

課題

グローバル社会における排他主義とデモクラシーに関する総合的研究

研究テーマ名

多文化共生デモクラシーの社会基盤設計—制度・構造・規範の国際比較共同研究

責任機関

国立大学法人九州大学

研究実施期間

平成29年2月～平成31年9月

研究プロジェクトチームの体制

研究代表者等の別	氏名	所属機関・部局・職名
研究代表者	大賀哲	九州大学・大学院法学研究院・准教授
分担者	蓮見二郎	九州大学・大学院法学研究院・准教授
分担者	山中垂紀	九州大学・大学院法学研究院・協力研究員
分担者	エドワード・ヴィッカーズ	九州大学・大学院人間環境学研究院・教授
分担者	中藤哲也	九州大学・情報基盤研究開発センター・助教
分担者	内田諭	九州大学・大学院言語文化研究院・准教授
分担者	仁平典宏	東京大学・大学院教育学研究科・准教授
分担者	北田暁大	東京大学・大学院情報学環・教授
分担者	西田亮介	東京工業大学・リベラルアーツ研究教育院・准教授
分担者	礪波亜希	筑波大学・ビジネスサイエンス系・准教授
分担者	中野涼子	金沢大学・人間社会研究域法学系・准教授
分担者	山本圭	岡山大学・大学院教育学研究科・講師
分担者	松本佐保	名古屋市立大学・大学院人間文化研究科・教授
分担者	秦正樹	北九州市立大学・法学部政策科学科・講師

分担者	山腰修三	慶應義塾大学・メディアコミュニケーション研究所・准教授
分担者	ジョハンナ・ズルエタ	創価大学・国際教養学部・講師
分担者	大井由紀	南山大学・外国語学部・准教授
分担者	富永京子	立命館大学・産業社会学部・准教授

配分（予定）額

（単位：円）

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
2,990,000円	9,734,400円	6,240,000円	4,446,000円

※平成29年度・平成30年度・平成31年度については予定額

研究目的の概要

本研究の目的は、多文化共生社会を実現するために不可欠な社会基盤の構築を事例研究・データ分析・国際比較研究など複数のアプローチから多角的に検証し、そのメカニズムを明らかにすることである。事例研究では制度（市民権、移民、教育、社会参加）、構造（選挙、世論、社会運動、メディア、学術・論壇）、規範（宗教・文化、歴史認識、対外政策、国際社会）の三領域を対象に、(1)排除および(2)共生を促進する要因、(3)排除を共生へと方向づけるメカニズムを考察する。またデータ分析を用いた実証研究と海外メンバーと連携した13か国の国際事例比較を加え、定量的研究・定性的研究の両面から、多文化共生社会を支える社会基盤を包括的に研究し、「多文化共生デモクラシー」の政治的・社会的可能性を検討する。

研究計画の概要

制度分析班、構造分析班、規範分析班が事例研究を、データ分析班がデータ分析に基づく多国間比較を、国際比較班が国際比較事例研究を担当する。事例分析各班とデータ分析班・国際比較班が連携し、個別事例の検証、定量的なデータベースの構築と分析（テキストマイニングとサーベイ実験）、体系的な国際比較を行う。